

けいすい

北っ子の心を見つめる教育週間

Education Week for Reflecting on Life

大相撲では若隆景の復活優勝、バスケットボールでは長崎ヴェルカの創設 5 年目での初優勝とスポーツの話題も多く聞かれます。6月11日はサッカーのワールドカップも開幕します。益々スポーツ観戦の熱が高まる6月になりそうです。

さて、6月1日から6月7日は北っ子の心を見つめる教育週間です。教育週間は、「いのちを輝かせて生きる、心豊かな長崎っ子の育成を図る」ことを目的として平成16年から始まりました。

“いのちを輝かせて生きる”とは、具体的にはどんな姿なのでしょう。私は次のように考えます。

いのちを輝かせて
生きる!

①自分らしき全開で生きる!

②つながりを感じて生きる!

③困難を乗り越えて生きる!

この週間では、①自分らしく、②つながりを感じて、③そして苦手なことや困難なことを乗り越えて行動できるように、子どもたちの身近にあることを取り上げ、いのちを輝かせて生きるとはどんなことか具体的に示しながら子どもたちに考えさせたり、感じさせたりしていきます。

この期間中は学校を開放し、子どもたちの学びの様子を見ていただくことで、地域・家庭と連携をして子どもたちを育てていくという意識を高めていきます。期間中は、PTA 総務部の方にいさつ運動をお願いしています。たくさんの方に子どもたちの学びの様子を見ていただきたいと思います。

やってみることの大切さ! The importance of trying

“体験し、やってみること”で学ぶことはたくさんあります。体験することは知識を単なる情報としてではなく、自分自身の理解として深く定着させることにつながります。また、感情を伴った経験は忘れにくく、体験から得た学びは記憶に残り、その後の行動や判断にも影響を及ぼします。体験することで、試行錯誤を繰り返し、知識は活用できるものへとかわってきます。

北小学校でも、体験活動をたくさん行っています。5年生6年生は家庭科の調理実習を行いました。実際に食材を調理することで、日頃の食について深く考えることにつながりました。また、1年生と2年生は芋を植え、これからの成長の様子を観察していきます。植物の成長を通して、自然の豊かさや大切さなど多くのことに気づいていきます。他学年においても、実際にやってみること、体験活動を多く位置付け、子どもたちの力となるようにしていきます。



こえていく!
連携協働編
BEYOND THE LIMITS!
Collaboratin with the
local community

学校だより第7号で紹介した4年生の総合的な学習、“地域の伝統を受け継ぐ”についてです。カリキュラムの見直しも終わり、具体的な計画にそって学習がスタートしています。先日は、荻田浮立の継承に努力されている、学校評議員でもある太田先生をお迎えして、荻田浮立の歴史とその概要についてお話しいただきました。



太田先生の話からは、1850年から大事に受け継がれてきた荻田浮立をこれからもずっと残していきたいという思いが伝わってきました。今回の学習を受け、自分が感じた疑問や課題をもとにしてこれからの学習が進んでいきます。ふるさと田平のよさを十分に感じられるよう、連携して進めていきます。